

1 食肉流通の動向

(1) 豚

ア と畜頭数及び枝肉生産量

全国の豚のと畜頭数は1,606万5千頭、枝肉生産量は127万5,264 t で、前年に比べと畜頭数は1.2%減少し、枝肉生産量は0.9%減少した（表1）。

表1 豚のと畜頭数及び枝肉生産量の推移（全国）

区 分	と畜頭数	枝肉生産量
	千頭	t
令和6年	16,259	1,287,231
7	16,065	1,275,264
対前年比（%）	98.8	99.1

イ 取引成立頭数及び卸売価格

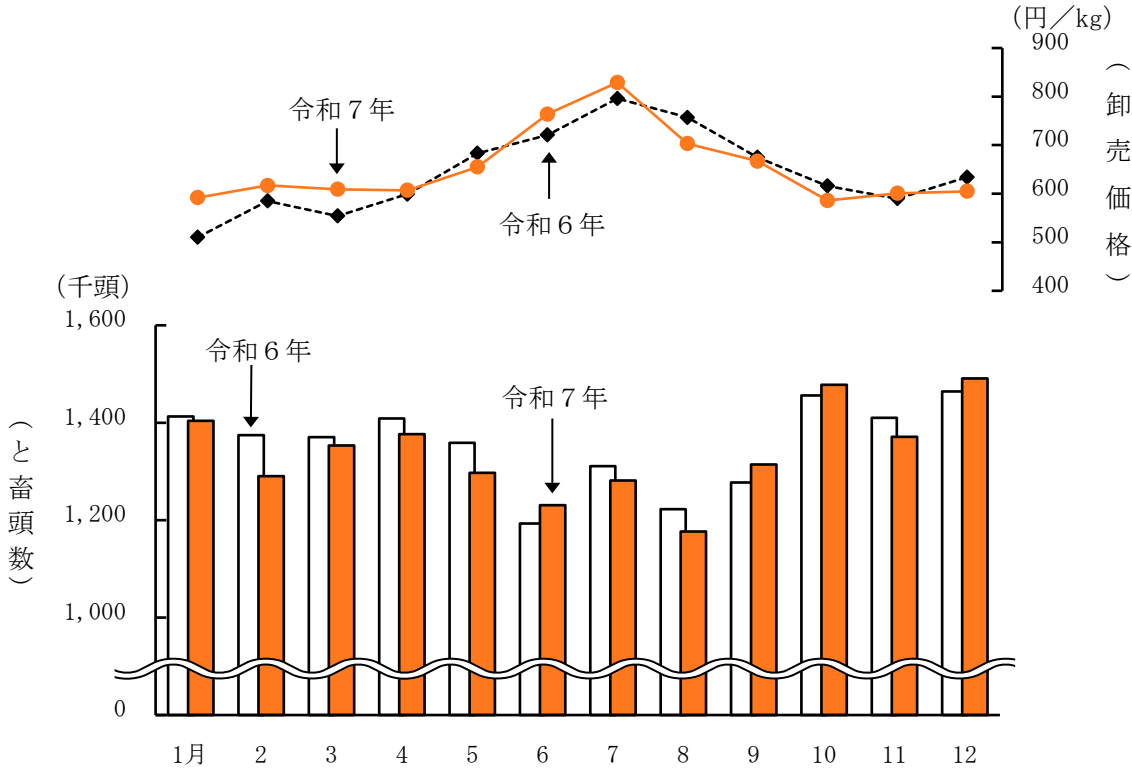
全国の豚のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は12.3%で、前年と同水準で推移した（表2）。

また、月別の卸売価格（極上・上規格）は、5月、8～10月及び12月で前年を下回ったものの、その他の月は前年を上回った（図1）。

表2 豚のと畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合（全国）

年 次	と畜頭数	食肉卸売市場 取引成立頭数	割 合
		千頭	
令和6年	16,259	2,001	12.3
7	16,065	1,980	12.3

図1 豚の月別と畜頭数及び卸売価格（極上・上規格）（全国）



(2) 牛

ア 成牛のと畜頭数及び枝肉生産量

全国の成牛のと畜頭数は108万9千頭、枝肉生産量は49万9,894 tで、前年に比べと畜頭数は1.8%減少し、枝肉生産量は1.2%減少した（表3）。

表3 成牛のと畜頭数及び枝肉生産量（全国）		
区 分	と畜頭数	枝肉生産量
	千頭	t
令和6年	1,110	505,779
7	1,089	499,894
対前年比（%）	98.2	98.8

イ 成牛の取引成立頭数及び卸売価格

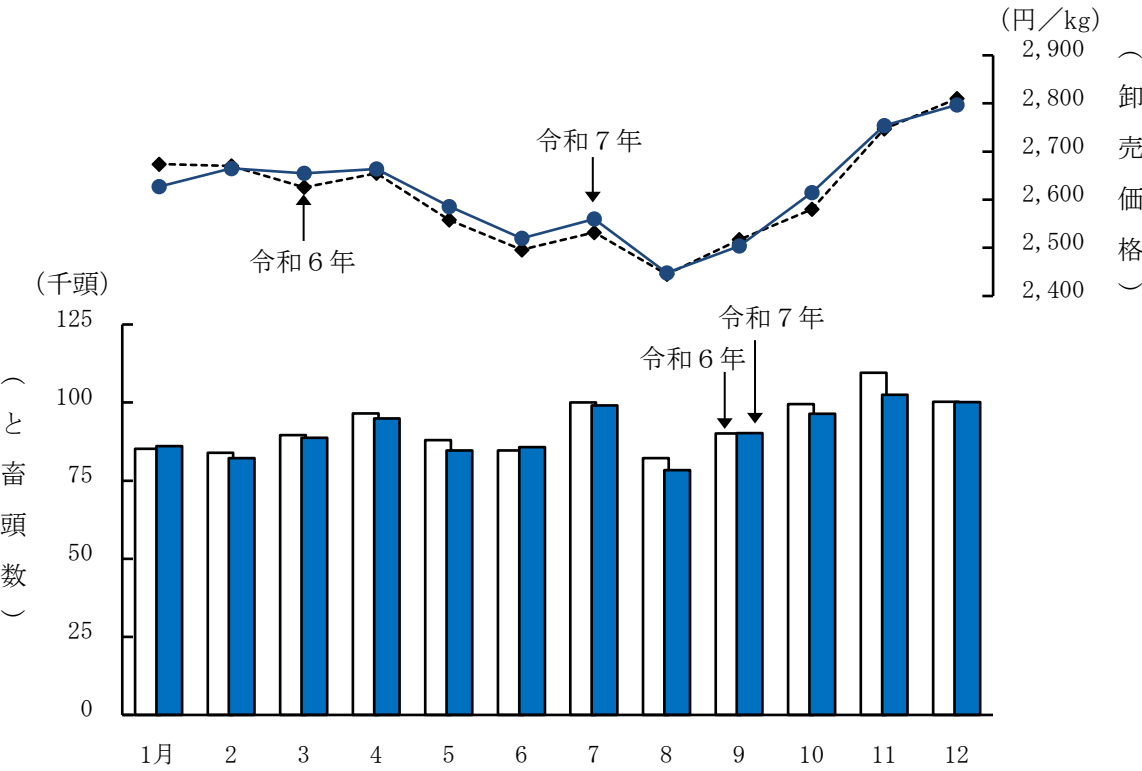
全国の成牛のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は33.7%で、前年に比べ0.4ポイント上昇した（表4）。

また、月別の卸売価格（和牛去勢A－5規格）は、1～2月、9月及び12月で前年を下回ったものの、その他の月は前年を上回った（図2）。

表4 成牛のと畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合（全国）

年 次	と畜頭数	食肉卸売市場 取引成立頭数	割 合
	千頭	千頭	%
令和6年	1,110	369	33.3
7	1,089	367	33.7

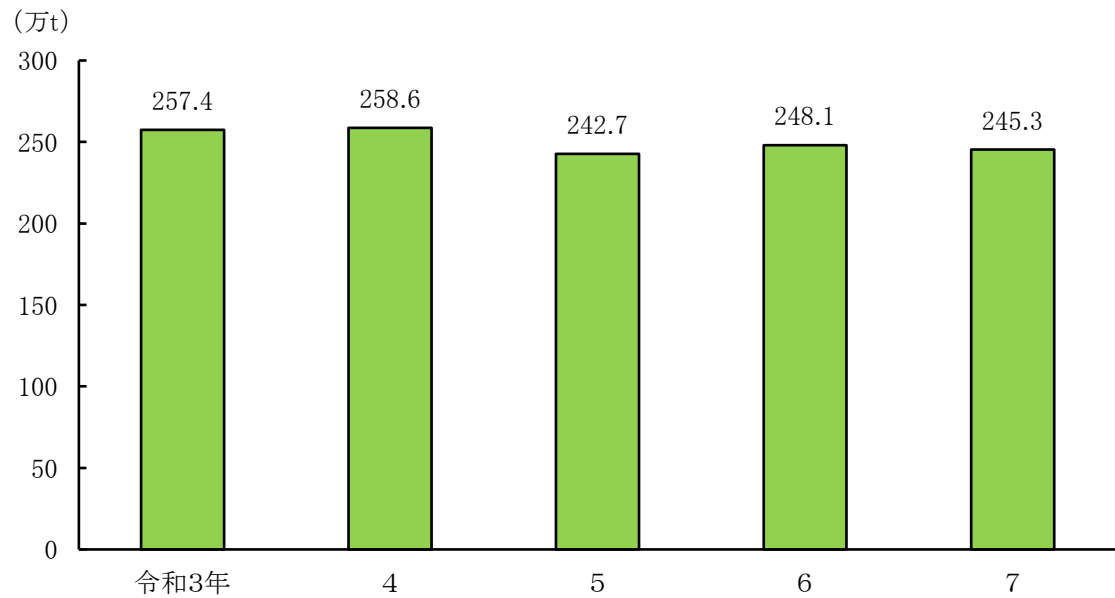
図2 月別と畜頭数（成牛）及び卸売価格（和牛去勢A－5規格）（全国）



2 鶏卵流通の動向

鶏卵生産量は245万3千tで、前年に比べ1.1%減少した（図3、表5）。
都道府県別の構成割合をみると、鹿児島県が7.0%と最も高く、次いで茨城県が5.9%、岡山県が5.6%、広島県が5.4%の順となっている（表5）。

図3 鶏卵生産量の推移（全国）



注：1 生産量とは、食用、加工用、種卵等として生産された鶏卵の数量をいい、収卵可能な奇形卵は含むが、収卵不可能な破卵、未熟卵は含まない（以下同じ。）。
2 令和3年以降は、採卵養鶏農家における自家消費量を含まない（以下同じ。）。

表5 鶏卵生産量（全国及び上位10都道府県）

区 分	実 数		対前年比	令和7年 構 成 比
	令和6年	7		
	千t	千t	%	%
全 国	2,481	2,453	98.9	100.0
うち 鹿児島	185	172	93.0	7.0
茨 城	142	144	101.3	5.9
岡 山	135	137	102.0	5.6
広 島	131	133	101.3	5.4
群 馬	127	130	102.6	5.3
千 葉	154	124	80.5	5.1
青 森	105	114	108.0	4.6
栃 木	105	105	100.0	4.3
愛 知	125	105	83.7	4.3
兵 庫	102	101	99.4	4.1
そ の 他	1,169	1,188	101.6	48.4

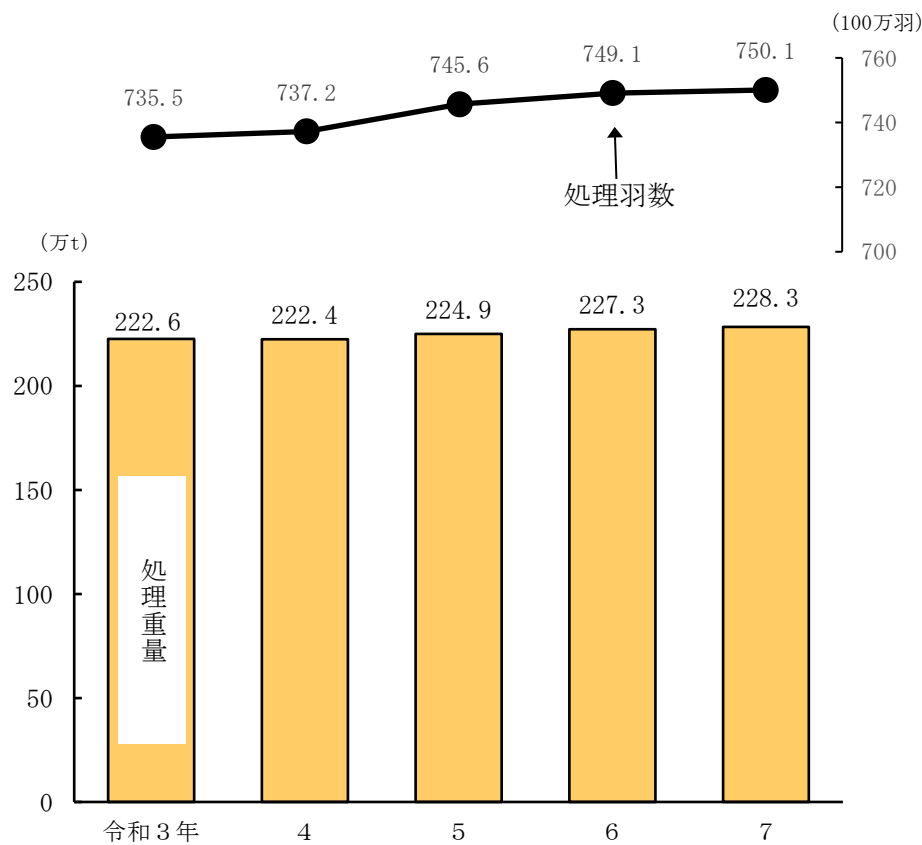
注：1 統計数値及び構成比は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。
2 対前年比及び構成比は、原数より算出している。

3 食鳥流通の動向

食鳥の処理羽数は、肉用若鶏が7億5,006万8千羽で前年に比べ0.1%増加、その他の肉用鶏が118万7千羽で前年に比べ1.4%増加、廃鶏が7,666万8千羽で前年に比べ1.4%減少した（図4、表6）。

また、処理重量は、肉用若鶏が228万2,523 tで前年に比べ0.4%増加、その他の肉用鶏が3,464 tで前年に比べ1.4%増加、廃鶏が13万3,968 tで前年に比べ2.7%減少した（図4、表6）。

図4 肉用若鶏の処理羽数及び処理重量の推移（全国）



注：1 「処理羽数」及び「処理重量」は、食鳥処理場が食鶏を食用に供する目的で処理した生体の羽数及び重量をいう（以下同じ。）。

2 調査対象は、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律（平成2年法律第70号）に基づき都道府県知事の許可を受けて設置された食鳥処理場であって、年間処理羽数が30万羽以下の施設で都道府県知事から食鳥処理の確認規程について認定を受けた認定小規模処理場を除く食鳥処理場である（以下同じ。）。

表6 食鳥処理量（全国）

区 分	単位	食鳥の種類		
		肉 用 若 鶏	そ の 他 の 肉 用 鶏	廃 鶏
処 理 羽 数				
令和6年	千羽	749,130	1,171	77,751
7	〃	750,068	1,187	76,668
対前年比	%	100.1	101.4	98.6
処 理 重 量				
令和6年	t	2,272,638	3,416	137,644
7	〃	2,282,523	3,464	133,968
対前年比	%	100.4	101.4	97.3